

初心者だからこそわかる フルセットタロット占い



SHIGEYUKI SHIGENAI

■目次■

- ◇表紙
- ◇目次 P1
- ◇著作権について P2
- ◇はじめに（必ず読んでください） P3
- ◇大アルカナと小アルカナ P4～P6
- ◇小アルカナの概要 P7～P9
- ◇小アルカナの象徴とその連想「各スーツのエース」 P10～P12
- ◇「ワンド2」～「ワンドのキング」の象徴とその連想 P13～P28
- ◇「カップ2」～「カップのキング」の象徴とその連想 P29～P44
- ◇「ソード2」～「ソードのキング」の象徴とその連想 P45～P61
- ◇「ペンタクル2」～「ペンタクルのキング」の象徴とその連想 P62～P78
- ◇「ヘキサグラム法を極める」 P79～P83
- ◇著者「茂内」のヘキサグラムリーディングの頭の中の思考 P84
- ◇「ケルト十字法リーディングの読み方」 P85～P89
- ◇著者「茂内」のケルト十字法リーディングの頭の中の思考 P90
- ◇いかに「連想」を豊かにするか？ P91
- ◇特定取引法に基づく記載事項 P92～P93
- ◇参考文献 P94

■著作権について■

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。
著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。（インターネットオークションも転売です）

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。
著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

■はじめに■

2011年9月1日に発売した「初心者でもわかるタロットの基本」は、いわばスポーツの「素振り」のような教本でした。

「意味を覚えるな」

「ポジションの定義は最重要」

「質問の本質は何か見極めろ」

「ドロ―されたタロットの全体を俯瞰しろ」

「質問内容に即した1枚のタロットの絵の中の象徴を観察しろ」

「そしてその象徴からどんどん連想を広げろ」

とまあ、皆様が日本で発売されているタロット教本とは、天地ほども違う内容で驚いた方もあったでしょう。

タロットは思想です。哲学です。

カバラという深淵なる森羅万象の智慧の塊を、78枚の絵にしたのですから。

今回の「初心者だからこそわかるフルセットタロット占い」は、前回の「初心者でもわかるタロットの基本」の続きです。

よって「逆位置の考え方」「大アルカナの象徴と連想」「3cards Splead」は省略しています。

発売時には、一端打ち止めした「初心者でもわかるタロットの基本」も同時発売しますので、ご購入する方はセットで購入したほうがいいでしょう。もちろん価格は特別価格で提示します。

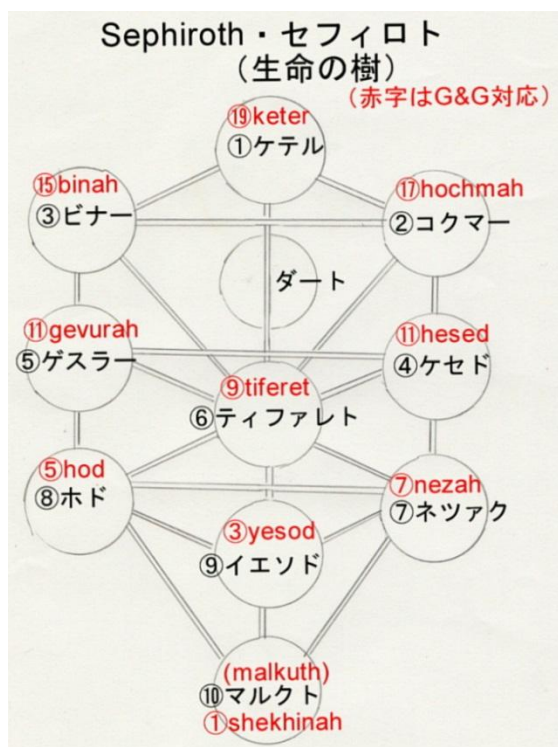
今回の「初心者だからこそわかるフルセットタロット占い」は、小アルカナの象徴と連想・ヘキサグラムやケルティッククロスの読み方を主流にして書き下ろしています。

もちろん、実際の鑑定時に「著者の私がどのように思考」しているか、頭の中身を披露したいと思います。

■大アルカナと小アルカナ■

大アルカナのみでも、「占う」ことはできます。
しかし、大アルカナは最も「カバラ」の思想を絵の中に埋め込んである。
いわゆる「カバラ」を知りたいなら、「大アルカナ」を知るべきなのです。

「カバラ」は「ユダヤ教神秘主義」というあまりに陳腐な翻訳ですが、ユダヤ教をはじめ、キリスト教・イスラム教に影響を与えた思想体系です。



大アルカナは簡単に言えば、「セフィロトの樹（生命の樹）」そのものを描いているんです。

セフィロトの樹は旧約聖書では、アダムとイブがいたエデンの園に生えています。この実を食べると「死」が無くなるのです。しかし、蛇（サタン＝ルシファー）の誘惑で、イブが智慧の樹の実を食してしまいます。それを観たアダムも食べてしまい、エデンの園から追い出される運命となるわけです。これを原罪と言います。

丸い円は「セフィラ（単数形）」です。全部で10個。隠しセフィラはダートです。

10個のセフィラは、タロットの数札に対応します。

そして、セフィラ同士を結んでいる「径（パス）」が22本あります。これが大アルカナに対応するわけです。

つまり、マルクト（普通はここで人間が誕生します）からケテル（神の玉座の近くまでいける聖人）までの、「径」「道」「啓示」「導き」「助言」「教え」「アドバイス」が詰まっているんです。

78枚のタロットデッキの中では、大アルカナが一番の影響力を持っています。特に後半の、「運命の輪」から「世界」までは、物質世界ではなく、精神世界の階段を上るのですから、重要なのは当然でしょう。

一方、小アルカナは、日常の生活・出来事・そのプロセスを描いています。大アルカナが「人生とは何か？」という壮大な問いならば、小アルカナは、「今晚の夕食は何か」ぐらいの差があるんです。

一般的には、大アルカナを 70～60%。小アルカナは 30～40%で読むのが普通ですが、そのポジションや質問内容によっては、比率も変わってきます。例えば、恋愛中の彼女が彼の気持ちの過去から未来への推移を知りたいとしましょう。

過去に大アルカナが出ていても、これはあくまでも過去。過去は変更できません。未来に小アルカナが出ていれば、可能性として重視すべきでしょう。



左図は「エデンの園」のアダムとイブです。アダムの後ろにセフィロトの樹があります。

イブの後ろに智慧の樹があり、サタン（ルシファー＝蛇）が誘惑しています。この図では、性器を隠しているのです。すでに恥辱を覚えたということです。

よって智慧の樹の実を食べた後の図だとわかります。

タロットの「Lovers」はどうでした？

小アルカナの中で一番重要なのは「エース」です。エースはそのスート（属性）の代表です。比重としては大アルカナクラスですね。

エースの中で注意点があります。

「ソードのエース」が場に出たら、そこはじっくり観察しましょう。

「ソードのエース」は何かが変わる啓示です。その「何か」を貴方は発見するのです。他のカードを見ながら。

また数札も「2」よりも「10」のほうが、当然、セフィロトの樹の上なので、すから比重は大きいわけです。

3枚引き程度ならまだしも、10枚引き以上のスプレッドになれば、必ずカードの強弱が出てきます。その強弱を、一瞬で読むんです。

ポイントは・・・

- 質問とリンクしているか？
- 出ているポジションの定義
- カードそのもの

この3つを1秒以内に判断します。

また、小アルカナには「コートカード」があります。

コートカード自体は、皆さん、人物を示すと思っていらっしゃるようですが、90%は「出来事」「事件」「問題」「解決」の課程・プロセスを示します。

よって重要なコートカードは「ナイト」と「クイーン」です。

「ナイト」は今まさに問題・出来事が頂点に達する暗示。

「クイーン」は同じく方向転換の暗示です。

まとめると・・・

スプレッドが並べ終わったら、質問者の相談内容にあくまでも関係あるポジションで、「大アルカナ」＝「エース」>コートカードのナイトもしくはクイーン>小アルカナ数札

且つ、ポジション定義を同時に瞬時に見る訳です。

全てが重要なカードが出ることは、31年タロットをやってきましたが、決してありません。ちゃんとメリハリを付けるのです。

極端な話。著者の私は、スプレッドの全てを読むことはまずありません。ケルティッククロスなら「近い未来の可能性」「キーカード（横になっているカード）」「ワイルドカード（9番目のカード）」「結論」の4枚です。それで十分なのです。

つまりこの4枚が「コア」「核」「バックボーン」「背骨」なんです。

あとの6枚は肉付けにしか過ぎません。しかし6枚の中で、上記のような比重の大きなカードがあった場合は、読みます。

すべて読んで時間稼ぎすることは決してありません。

相談者が幸せになる「導き」を潜在意識の中から発掘するんです。それがタロットの使命＝ミッションなんです。

■小アルカナの概要■

詳細は「プロ占い師が明かすタロットの極意」に記載されていますので、ここでは簡単に説明します。

■小アルカナ 各スーツの属性■

小アルカナの「意味」をいちいち覚えたり、確認することはありません。むしろ、「意味」に囚われすぎると、肝心のタロットのメッセージを見落とすことになってしまいます。「小アルカナ」の構成として、「火」「水」「風」「地」の4元素がありますが、各元素にはそれぞれ象徴すべき事柄が隠されています。「小アルカナ」も大きな概要を掴むことから始めましょう！

<ワンド (Wands) > 火の属性

感情・行動の源を示します。直感的な（ストレートな）言動や意志。それらに根ざした状態や出来事を暗示しています。火はものを作る上で欠かせない元素です。料理をするときや鍛冶屋さんも火を使うことから、創造するための根源的な力と言えるでしょう。火は瞬間的・一時的なエネルギー。



<カップ (Cups) > 水の属性



情・愛情・情動などの心や魂の象徴です。空想やイマジネーション・想像も示しています。水は「甘え」や「依存」も示しますが、それは水が流れる（流される）ことから想像できるでしょう。水は感情の作用を示します。人やものに対しての心の動きや情動を表し、好き・嫌いなどの主観的な感情を暗示しています。感受性や芸術性も高いのが「水」の持つ象徴と言えます。そのため「好き」「愛情を感じる」「想像する」「空想する」「イメージを浮かべる」などの感受性そのものを表します。「愛情」から、豊かで落ち着いた精神も示す属性です。

<ソード (Swords) >風の属性

思考・理性・知性を示します。言語感覚に優れている属性です。

客観的・冷静です。善悪の判断が明確で、それらに基づいた状態や出来事を表します。

「風」はまさに頭脳の働きを示し、物事を論理的に扱い、冷静に秩序立てて思考することを暗示しています。善悪の基準も明確で客観的に把握する属性です。

「風」には「考える」「考えを決める」などの思考と判断を示します。理知的・論理的ですが、逆に策略や悪意にも繋がるものがあります。



<ペンタクル (Pentacles) >地の属性



感覚や知覚。特に五感（観る・聞く・臭覚・触覚・味覚）による判断を示します。

人やものに対するの価値を基準に動きます。

「風」の属性のソードと、「水」の属性のカップの要素のバランスを保つ性質があります。

平衡感覚や安定、それに根ざした状態や出来事を象徴しています。

「地」は物事を知覚することや、五感の働き、それらのバランスを取ることを顕します。

物質の「質」の面から判断したり、合理的に考えることも表わします。

よって、堅実や着実な進行、価値、評価に対するの言動や、それらを基準とした現象や成果を暗示します。

★「プロ占い師が明かすタロット占いの極意」無料ダウンロードはこちら
[http:// fortunecat.jp/ report.html](http://fortunecat.jp/report.html)

★「プロ占い師が明かすタロット占いの極意」無料プロモーションビデオはこちら
[http:// shigeuranai.typepad.jp/ files/ purotarotgokuiyoutube.
mp4](http://shigeuranai.typepad.jp/files/purotarotgokuiyoutube.mp4)

ご購入は・・・
[http:// tarotcollege.boo.jp/ text.html](http://tarotcollege.boo.jp/text.html)

そのほかのタロット教本も販売しています。

次項では、いよいよ「小アルカナ」の観るべき象徴とその連想を記載します。
ただこの連想はあくまでも、著者の連想であること。
貴方は貴方なりの連想があるはずです。
100人いれば、100通りの連想があるんですから。
ですから、私の連想を覚える必要はまったくありません。

小アルカナは日常の出来事・問題・イベント・事件、そしてそのプロセスを描
いています。

また逆位置の考え方も大アルカナと同じです。
「極端」「偏り」「執着」と覚えておけば、まず間違いないでしょう。

まれに全部のドローカードが、小アルカナの場合があります。
この場合は、相談者の質問内容が煮詰まって無い証拠です。もっと別の重要な
相談内容がある場合も考えられます。

■小アルカナの象徴とその連想■

★各スートのエース★

■小アルカナ 各象徴が示すもの■

小アルカナには「ワンド」「ソード」「カップ」「ペンタクル」の4つがありますが、それぞれには固有の象徴があります。

<ワンド (Wands) 樹の棒>

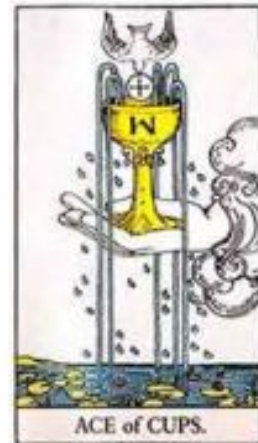


人間が人間らしく生きるための道具。食物を得たり収穫するための道具を象徴しています。生きるための本能や強い感情も表わしています。火の元素。

ワンドは杖やこん棒を描いています。葉も生えていることから生命の息吹を表していますし、葉の茂った様子が炎を暗示させます。

<カップ (Cups) 聖杯>

祝杯を上げるなど「喜び」や場合によっては「悲しみ」などを分かち合うための道具です。人に対する感情や愛情を表します。感受性や情動の動きなどを象徴しています。水の元素。



<ソード (Swords) 剣>



ソードは鉄ですが、振りまわすと風を切ることから属性は風です。ソードは戦い、勝利するための道具。思考したり、策略を練ったり、時には人を傷つけることもあります。自分自身との戦いも暗示します。

<ペンタクル (Pentacles) 金貨>

ペンタクルは護符や紋章・金貨を示しています。ものの価値を暗示します。



代賞や代金の証でもあります。具体的な成果や報酬、実利的な事柄を象徴しています。地の元素。

「エースカード」が特別なのは、スーツの属性（火・水・風・地）の代表であり、しかもすべて白い雲から右手が出ています。右手は神の手。

◆ワンドのエースを連想してみましよう◆



誕生 新たなスタート 創造 独創性 意味ある経験のスタートがテーマとなります。特に「創造」は強いメッセージ。

★目標への第一歩★創造力、活力★直観の働き★強い意志★意思・動機・アイデアが湧く

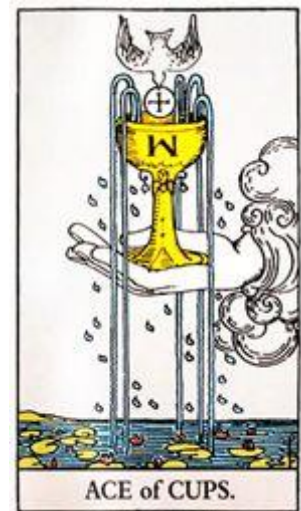
★発展する★未来への第一歩★はじまり★新たな野心・欲求・目的★芽生え☆生産力

☆精力、性衝動☆成功、発見☆芸術的なインスピレーション

「火」は創ること。よって芸術作品を創る閃きも連想できます。

◆カップのエースを連想してみましよう◆

純愛 真実の愛 溢れんばかりの愛情と幸福 豊富
喜び 夢の実現がテーマになります。ここから連想します。★感情に関することの始まりを示す★自分を理解し人から理解され相手を理解する★人や物事に対して愛情を抱く、情が深まる★満足、喜びを感じる★心温まるできごと★愛情の深まり★好ましい愛情の形★心と体の一致した愛情★人類愛★平和、自由な状態☆人を思いやる行為☆温かい心で接する☆受け入れる☆情動、感受性の作用☆自由、希望のある状態☆芸術、美



☆「鳩」は平和の象徴。その鳩が「聖麴麩」を啜えています。「W」の文字に見えるのは、ヘブライ語。メムと発音します。意味は「水」

◆ソードのエースを連想してみましよう◆

支配や征服 望みの達成 主義の勝利 相手を口説き落とす 技量や能力で認められる 力による勝利 容赦ない前進 困難を乗り越える 平和と公正が期待される・・・という攻撃的なテーマです。

★行動の元になる思考★精神力★知性・理性による勝利★決定する、判断する★識別する★創意★発案、企画☆鋭い動き☆変化☆緊張感のある状態☆攻撃性○ソードは「風」の属性ですから、当然、情報に関する連想もあるわけです。



「ソードのエース」はエースの中でも特別です。
相談者に近いうち（2～3週間後）に、何かが起こる証です。正位置では善いこと。逆位置では悪いことが起こります。
何が起こるのかは、周囲のカードで判断します。

◆ペンタクルのエースを連想してみましよう◆

宝物 財産 金銭の利益 完成 達成 大きな喜び 繁栄・・・がテーマ。さすがに金貨のカードです。

●5感で感じ取れる始まり●目に見える結果が現れる

★知覚、平衡感覚★五感、合理的価値観★物質、身体に関する事柄★安定★結論が出る、解決する★健康状態の安定★繁栄や成功することの基盤がある★金銭・富★満足感

○ペンタクルエースには、綺麗な庭が描かれています。アーチから見える山は、小さな不安。

○白百合と赤い薔薇は、男女の結合・協力・助け合いの啓示です。

○また、「地」の属性のため、「安定感」「安心感」「信頼」「信用」という連想もあります。



★ワンドの2の象徴とその連想★

犠牲を払う幸運 権威・権力 目標を達成する 大きな業績を残すが心を失う。
がテーマとなりますね。

【上記のテーマ（感想）から導き出された連想言語】

- ◆仕事は質の高さで良い評価を得ることができる 昇進の機会
- 過去の成し遂げた実績から新たな目標に信念を抱く
- 理想と可能性のバランス
- ★アイデアを実行する
- ★責任感、実行力
- ★指導性
- ★支配・イニシアチブを取る
- ★対外的な活動
- ★富と権威の獲得
- ★意見の一致
- ★合意を得る
- ★前進
- ☆達成・征服
- ☆成功に至る努力
- ☆計画性を持つ
- ☆始めの一步
- ☆方向性の定まり



○1つのワンドは壁に括りつけられています。よって彼の自由になりません。創造のシンボルであるワンドの1つが使えない＝未熟さ・方向性を眺めているに過ぎない。と連想できます。

○彼は「地球」を持っています。ここから「野心」「野望」「リーダーを目指す」「組織を創りたい」と連想できましょう。

○壁の左横には、「白百合」と「赤い薔薇」の十字。やはり彼が本当に成功するには女性的な（母親的な）要素が必要なんですね。

○左手でワンドを持っています。右のワンドを合わせて観てみると、「窓」から外を眺めているようです。「窓からの視界が彼の見える限界」「窓の外から計画を練る

ヘキサグラム法を極める

過去から永続的に使われているスプレッドを「トラディショナルスプレッド」と呼びます。

「トラディショナルスプレッド」の中でも、「ヘキサグラム」と「ケルト十字法」はとりわけ有名でしょう。

一般的に「ヘキサグラム」は結果に対して「このような条件をクリアした場合に・・・のようになる」というスプレッドです。

それに対して、「ケルト十字法」は「クリアすべき条件を相談者が果たせるかどうか」までが判断できます。

言いかえれば、「ヘキサグラム」は相談者に制約が無く、動きが自由に取れる場合の啓示を知るもので、「ケルト十字法」は、相談者の動きが思うようにできず、問題の対象とどのように関わっていけばよいのかが明確でない場合に使えるスプレッドと言えます。

●左右対称の「ヘキサグラム法」は、二者の関係や相談者と組織との関係などの、相関係を紐解くスプレッドとして有名です。

「両者の調和・バランス」「調和やバランスも取り方」を示唆してくれるスプレッドです。互いの優劣関係や、双方の間にある問題点などを明確に推し量るのに便利なスプレッドとも言えます。

●「ヘキサグラム」はある程度、相談者がなんらかのアクションを起こす状況であることが条件です。何も接触する機会や方法が無い場合などの「復縁」を占うのには適していません。

<ヘキサグラム法の詳しい読み方>

●「2」の現在のポジションは、相談者の立場では至極当たり前のことがでるはずでしょう。

またある程度、状況を伺えば、それらしきカードも出てくると思います。単に「現在の状況」を読むというよりも、相談者やその相手がどんな心境なのか？

どのような立ち位置にいるのか？何が問題となっているのか？等と具体的に読み取ることが大切です。

一般的には、「相談者の現時点での障害・」という定義がよさそうです。

ただ、これはあくまでもリーダーの考えることですから、その都度、臨機応変に対応してください。

同時に「2」で現在を質問者について読み解くならば、「5」の質問者のポジションでは、その「2」をさらに補足し詳細な説明が加えられるべきでしょう。

●「3」は「未来」のポジションですが、「7」のような最終的な結論とは異なります。

あくまでも「2」の現状が運勢の流れで「どのような方向性」に変化するかというプロセスを示す、と考えてください。

また言い換えれば、「3」の未来は、「7」の結論に至るまでの「原因・理由」の相当するとも言えます。

一般的には「相談者が何もアクションを起こさなければ起きうる可能性」という定義がよさそうです。

●「5」の質問者のポジションは、「質問者自身」を示す場合もありますし、対象となる人物を設定し、その後に「6」でその対象に対しての人物または物事・出来事全般を読みます。

●「5」「6」のポジションは様々なカスタマイズが可能です。（実際は全てのポジションでカスタマイズが可能なんですが・・・）

例えば・・・「質問者」と「意中の相手」と捉え、その人物の「気持ち」に焦点を当ててもいいでしょう。ポジションの設定項目を「狭く」することで、質問の意図に近づけます。

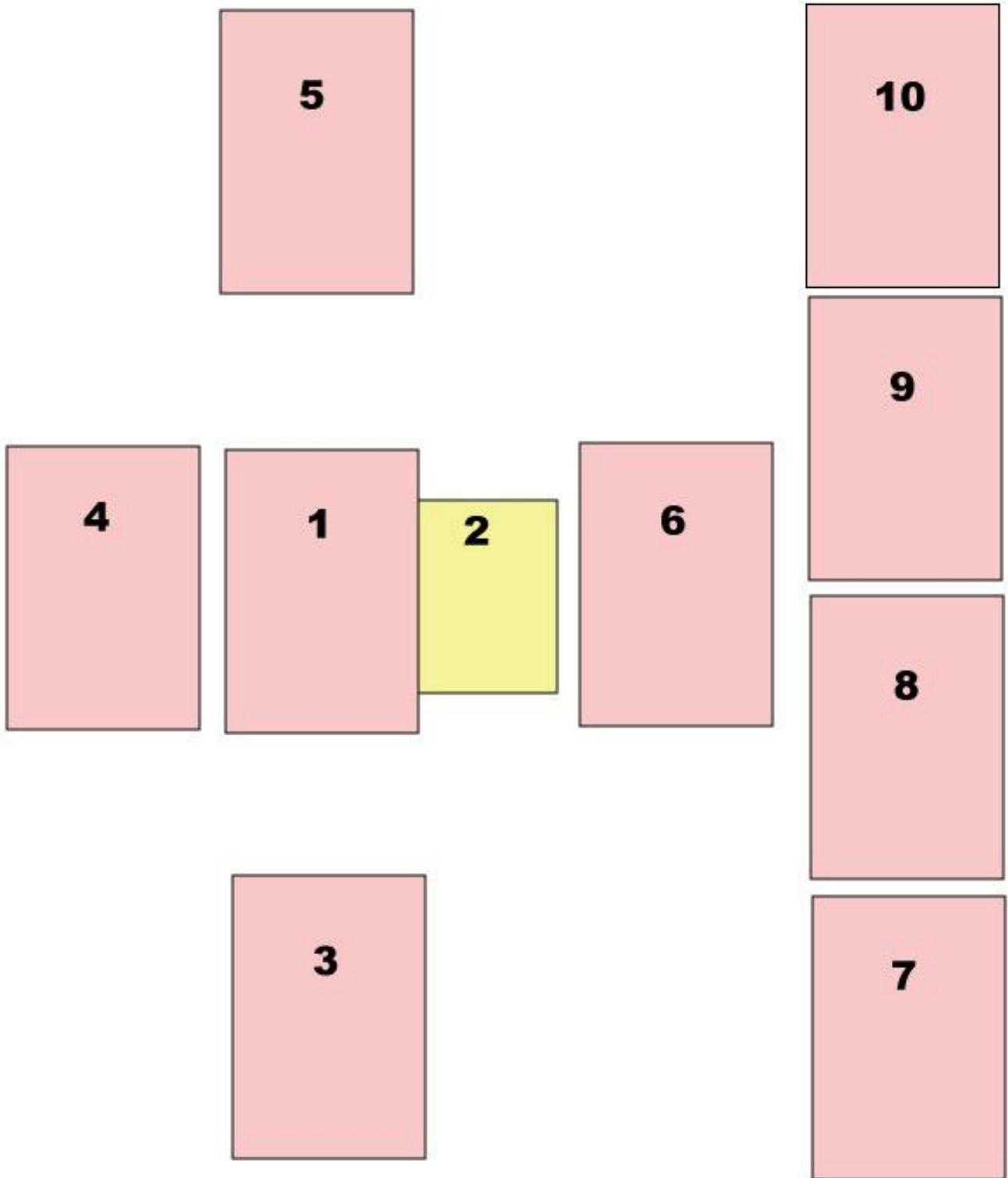
残念ですがお見せするわけにはいきません。

<ヘキサグラム法の読み方のコツその1>

残念ですがお見せするわけにはいきません。

★ケルト十字法リーディングの読み方★

残念ながらお見せするわけにはいきません。



★著者：茂内のケルト十字法リーディングの頭の中
の思考★

残念ながらお見せするわけにはいきません。